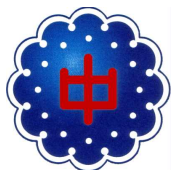


学校だより



# 海展け

第1号 2022年 7月20日

旭市立飯岡中学校

旭市横根3746番地

HP <http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/jhs-iioka/>

QRコード



## 《学校教育目標》

**「未来を主体的に切り拓くことのできる逞しい生徒の育成」**

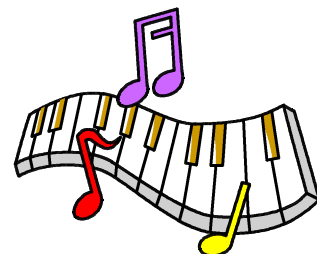
学校だより「海展け」(うみひらけ)を刊行します。この学校だよりで、皆様に飯岡中学校のご理解に少しでも役立てばと思っています。

この題名にした「海展け」についてですが、本校校歌の1番から3番までの初めに出てくる歌詞です。

作詞をした神原克重氏ですが、この旭市飯岡に生まれ、大正・昭和期の歌人であります。また、旧制中学教員、校長、短大教授などを歴任し、大正6年に若山牧水に師事して創作社に入り、昭和33年「王樟」を主宰した方です。 出典：『コトバンク』

さらに千葉県を始め、北海道網走南ヶ丘高等学校(旧 網走中学校)の校歌も作詞しており、30数校の校歌を作詞したとのこと。ちなみに旭市の玉崎神社の生まれであり、現宮司様の大叔父にあたる方です。

作曲の森義八郎氏については、作曲家、小学校音楽教師。現在の山形県北村山郡大石田町田沢出身になります。高等小学校卒業後、警察などに勤務し、代用教員を経て、独学で大正9年に小学校教員試験に合格し、現在の村山市の大槇尋常小学校では生徒に詩を書かせ文集を作り、その中の優れたものを雑誌「赤い鳥」に投稿するなど積極的な指導を行ったとのこと。「赤い鳥」で北原白秋や西條八十らと知己を得た彼は、その後上京し、渋谷区の大向小学校の教員となり、音楽教員の傍ら作曲活動を行い、淡谷のり子や東海林太郎などに曲を提供し1000曲以上発表したそうです。



出典：フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

飯岡中の校歌は昭和34年(1958)3月に発表されています。現在、旭市では少子化のため学校再編計画が出されています。それによると2030年頃を目安にこの飯岡中は海上中と合併する予定です。そのときには校歌も新しいものになるかもしれません。飯岡中誕生から65年の歴史を感じつつ学校だよりを作成していこうと思います。

(ちなみに調べたところによると、銚子市立春日小学校及び柏市立第五小学校の校歌においても作詞、作曲が同じ方でした。)

一昨年度よりコロナ禍の影響により全校で校歌を歌う機会は以前に比べすっかり減ってしまいましたが、創立当時の思いを受け継ぎ、みんなで歌っていければと思います。

支部総体を終えて

今年度は久しぶり人数制限はありますが、全部活動で保護者の応援を入れての大会となりました。生徒はコロナ感染症予防や熱中症予防をしながら練習に励みました。生徒数の減少及び部員数の減少により、剣道部や女子バスケットボール部の活動はこの大会が最後となりました。

私も時間のある限り、大会の応援に行かせていただきました。点差のつくゲームもありましたが、生徒一人一人が最後まで、一生懸命に取り組む姿を見せていただき、とてもうれしく、そして頼もしさを感じました。真剣に取り組む姿・眼差しは人の心を動かします。3年生の皆さんは、この気持ちを忘れず、今後の人生に活かしてもらえればと思います。

選手の皆さん、そして、応援してくださった方々、お疲れ様でした。また、県大会出場者はベストパフォーマンスを発揮できるように頑張ってください。

#### 支部大会の結果

部活動名	大会結果等
野球部	1回戦(対:千潟中) 勝利。 2回戦(対:旭二中) 7対4 敗退
陸上競技部	県大会出場 男子共通四種競技(2名)。男子共通走り幅跳び。男子共通400 M。男子共通砲丸投げ。女子100 M ハードル。女子共通四種競技。
バスケットボール部	〈女子〉1回戦(対:銚子西中) 敗退
バレーボール部	〈女子〉優勝(県大会出場)(三季連続)
卓球部	〈男子〉個人戦 ベスト16進出。ダブルス 1回戦敗退。 団体戦 1回戦(対:旭二中) 敗退 〈女子〉個人戦 1回戦敗退。ダブルス1回戦敗退 団体戦 1回戦(対:ハ一中) 敗退
ソフトテニス部	〈男子〉個人戦 5位(2ペア)。団体戦 1回戦(対:旭二中)敗退 〈女子〉個人戦 5位(1ペア)。団体戦 3位
剣道部	個人戦 2回戦進出
サッカー部	4位 準決勝 対旭二中 1-2 敗退 3位決定戦 対銚子西 2-2 PK 3-4 敗退
吹奏楽部	7月28日 県吹奏楽コンクール

#### インターネット安全教室

6日に旭警察署の生活安全課より講師を招いて生徒及び保護者向けに講演していただきました。スマホ等 SNS を活用できるご家庭は多くなっていると思います。とても便利な物ですが、利用の仕方によっては大変危険な物になり、事件に巻き込まれたり、取り返しのつかないことになったりもします。

保護者は子どもにスマホ等を持たせるということは、使用に関しても保護者としての責任があります。夏休みは、子どもが自由にできる時間が多くなります。ある程度分別のできるように育ててきていますが、まだまだ子どもです。目は離しても、気持ちは離さないように見守りをお願いします。

ゲーム等についてもゲームの制作者は利用者を離さないようにあの手この手を使って、より面白い物を作ってきます。ルール無き場でやっていたら、のめり込むのは当然です。ご家庭のルールを今一度確認してください。夏休みは、2学期に良いスタートを切るための準備期間です。

